

44人参加し森に 親しむ会開く

多治見三ツ池の森

多治見市の多治見中学校や星ヶ台競技場に隣接する「三ツ池の森」で先ごろ、「森に親しむ会」が行われた。

三ツ池の森は、平成十九（二〇〇七）年度か

ら、同校生徒が継続して樹林整備活動を実施。現在、授業は行われていないが、PTAや当時の保護者らを中心に「整備の会」が立ち上がり、整備活動や親睦イベントを定期的に開催している。

親しむ会は毎年、この時期に行っており、今回は同校ボランティア「輝き隊」も含め四十四人が参加。山田林業など、地元「プロ」の協力を得て、森の間伐材を使ったシイタケの菌打ち体験や色鉛筆作りの実演などが行われた。全長約二キロの遊歩道を歩いた後は、森の木で薫製したピ―ナッツや鹿肉、ゆで卵などの「味見会」もあり、参加者らは五感を通じて森の自然を満喫した。



菌打ち体験をする参加者